

ホームID	ホーム名		法人名			評価日		
2824	ライフハウス緑橋2		(株)生活科学運営			H28.11.28		
評価機関	特定非営利活動法人 福祉経営ネットワーク					H28.12.16		
評価結果								
スケールNo.	自己評価	機関評価	スケールNo.	自己評価	機関評価	スケールNo.	自己評価	機関評価
1.1.1	B	B	2.3.4	A	A	6.2.1	非該当	非該当
1.1.2	A	A	2.3.5	A	A	6.2.2	非該当	非該当
1.1.3	A	A	2.3.6	A	A	6.2.3	非該当	非該当
1.1.4	A	A	2.3.7	B	B	6.2.4	非該当	非該当
1.2.1	A	A	2.3.8	非該当	非該当	6.2.5	非該当	非該当
1.2.2	A	A	2.3.9	A	A	6.2.6	非該当	非該当
1.2.3	A	A	2.3.10	A	A	6.2.7	非該当	非該当
1.3.1	B	A	2.3.11	A	A	6.2.8	C	C
1.3.2	A	A	2.4.1	A	B	6.2.9	非該当	A
1.3.3	A	A	2.4.2	A	B	6.3.1	非該当	非該当
1.4.1	B	B	2.4.3	A	A	6.3.2	B	A
1.4.2	A	A	2.4.4	A	A	6.3.3	C	C
1.4.3	A	A	2.4.5	A	A	7.1.1	B	B
1.4.4	A	A	2.4.6	A	A	7.1.2	A	A
1.4.5	B	B	3.1.1	B	B	7.2.1	B	B
1.4.6	B	A	3.1.2	A	A	7.3.1	非該当	非該当
1.4.7	A	A	3.1.3	B	B	7.3.2	非該当	非該当
1.4.8	A	A	3.1.4	非該当	非該当	7.3.3	非該当	非該当
1.5.1	A	A	3.1.5	非該当	非該当	7.3.4	非該当	非該当
1.5.2	A	A	3.1.6	A	A	7.4.1	非該当	非該当
1.5.3	A	A	3.1.7	A	A	7.4.2	非該当	非該当
2.1.1	A	C	4.1.1	A	A	7.4.3	非該当	非該当
2.1.2	A	B	4.1.2	A	A	7.4.4	非該当	非該当
2.2.1	A	A	4.1.3	A	A	7.4.5	B	A
2.2.2	A	A	4.1.4	A	A	7.5.1	非該当	非該当
2.2.3	A	非該当	4.2.1	A	A	7.5.2	非該当	非該当
2.2.4	A	A	4.2.2	A	A	7.5.3	B	A
2.2.5	A	A	5.1.1	A	A	7.5.4	非該当	非該当
2.2.6	A	A	5.1.2	A	A	7.5.5	非該当	非該当
2.2.7	A	A	5.2.1	A	A	7.5.6	非該当	B
2.2.8	A	A	5.2.2	A	A	7.5.7	A	A
2.2.9	A	A	5.2.3	A	A	7.6.1	A	A
2.2.10	A	B	5.2.4	B	B	7.6.2	A	A
2.2.11	A	B	5.2.5	非該当	非該当	7.6.3	B	B
2.3.1	非該当	非該当	6.1.1	非該当	非該当			
2.3.2	非該当	C	6.1.2	A	C			
2.3.3	B	B	6.1.3	A	A			

【評価機関の所見】

1. 優れた取り組みと思われる点

スケール	所見
2-3-4	「ご入居者アンケート」を実施して、生活上困っていること、ハウスに入居してよかったこと、楽しみにしていること、ハウスに求めること等、入居者の意向調査を実施している。結果については、グラフにして可視化する等、入居者に配慮して開示している。また、年1回食事アンケートを実施し、結果を利用者懇談会で開示する等、さまざまな機会をとらえて、入居者の意向を把握し、サービスの質の向上に努めている。
2-4-3	事故防止マニュアルを整備し、事故防止に関する意識の向上を図るため「事故防止勉強会」を実施する等、組織として再発防止を図る体制が整っている。さらに、「入居者とのおしゃべりサロン」で介護保険等入居者に必要な情報を提供する中で、居室内で起こる事故について、入居者に説明し、事故防止に向けて注意すべきことを学ぶ機会を提供している。職員および入居者の安全に対する意識の向上が図られている。
4-2-2	行事は、新年祝賀会をはじめ、節句・夏祭り・クリスマス会などが計画されている。さらに、映画会やカラオケ大会のほか、ボランティアの訪問や入居者の要望によるトランプを楽しむカードの会などもある。それぞれの行事ごとに、担当職員が起案書を作成し、開催後には報告書として、開催状況や参加人数などととも実施上の課題、反省点等が記され、結果を省みて、今後の開催に向けて反映されるよう取り組んでいる。
5-1-2	食堂に意見箱を設置する他「お食事意見ノート」を置き、入居者自身や職員が入居者から聞き取った要望や意向等を記入している。また、法人が行う食事アンケートに加え、事業所独自で食事も含めた満足度調査も実施している。さらに、毎月開催している厨房会議には管理者が入居者の要望を持ち寄って参加する等、入居者のニーズを把握し、嗜好や意向を反映させ、入居者が楽しみ満足できる食事の提供に努めている。

2. さらに取り組むことで、より質の向上が可能と考えられる点

スケール	所見
2-1-1	ホームの運営理念については、ホーム内掲示等で確認できず、ベテラン職員は、知っているが、新しい職員には特に周知する取り組みは行われていない。また、入居者にもホーム内の掲示等で周知されていない。あらためて、ホーム内の目につく場所に掲示して、ホームが目指していることを明示することが求められる。さらに、職員にもミーティング等で定期的に確認する機会を設けて、周知を図るよう取り組まれない。
2-4-1	入居者からの金品授受については、受け取らないこと、やむを得ず受け取った場合は、ハウス長に報告すること等、職員へ明確に周知されていない。受け取りを拒否することで利用者との良好な関係性に支障を与えることも想定されるが、職員のモラルの低下につながるリスクもある。受け取った際の速やかな入居者への対応とホーム長への報告等、マニュアルや規程を定め、研修等で定期的に職員に周知することが求められる。
6-1-2	身だしなみマニュアルはあるものの、接遇マニュアルは作成されておらず、接遇研修に関しても、入職時に行う研修のみになっている。入居者の人権を尊重し、言葉使いや態度に対しての心得は常に権利擁護を意識しながらの対応が望まれる。今後、外部研修への参加を含め、定期的に接遇・マナー研修を実施するとともに、早急にマニュアルの策定に取り組まれることを期待したい。
6-2-8	現在、家族等に対して定期的に入居者の状況を伝えたり、積極的に関わることは行っておらず、行事などのお知らせは入居者に委ねている。多くの入居者は自立者ではあるが、約半数は要支援や要介護者となっており、今後さらに年を重ね、介護度は増すことと推測される。さまざまな行事へ家族の参加を促す取り組みや、入居者との交流を促進するための工夫を含め、家族等とのさらなる連携の強化が求められる。